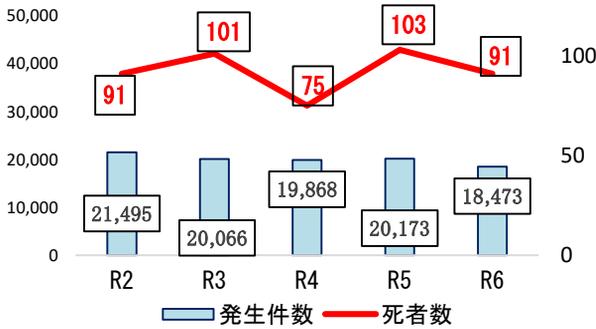


# 安全運転のためのワンポイントアドバイス

## はじめに、福岡県の交通事故情勢

交通事故発生件数・死者数の推移(過去5年)



【発生件数】 8,579件(前年比-777件)

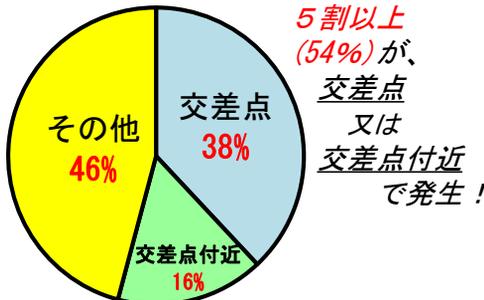
高齢者関連、自転車関連、こども関連事故は、約1割減少

【死者数】 41人(前年比 -6人)

- 時間帯別 : 20時～22時の間で7人 ※ 全死者の約2割
- 道路形状別 : 交差点及びその付近で17人 ※ 全死者の約4割
- 状態別 : 歩行中21人 ※ 全死者の約5割
- 年齢別 : 高齢者(65歳以上)23人 ※ 全死者の約7割
- 事故類型別 : 人対車両で20人 ※ 全死者の約5割

## 1 交差点における安全確認

道路形状別交通事故発生割合



5割以上(54%)が、**交差点**又は**交差点付近**で発生!

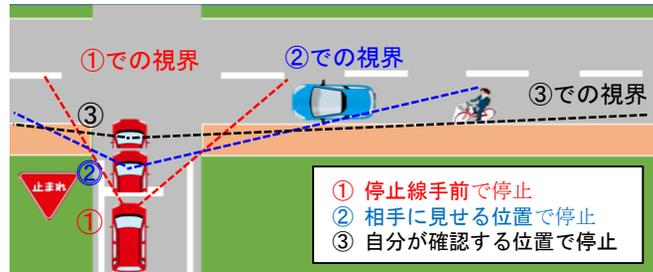
□交差点 □交差点付近 □その他

交差する道路の安全確認を確実に行うとともに、安全な速度で通行しましょう。

右折時の**対向車両**、左折時の**巻き込み**、右左折先の**横断者**にも

**要注意! しっかり目視で確認を!**

多段階停止



- ① 停止線前で停止
- ② 相手に見せる位置で停止
- ③ 自分が確認する位置で停止

## 2 横断歩道における歩行者優先

横断歩道を妨害したら**違反**です!

横断歩道に歩行者がいるときは、横断歩道手前で一時停止しなければなりません。

停止しない場合は、「※横断歩行者等妨害違反」となります。

※ 3月以下の拘禁刑又は5万円以下の罰金(過失10万円以下の罰金)

信号のない横断歩道の通行方法

横断歩道では停止横断している、または横断しようとする歩行者がいるときは、手前で一時停止をして、その通行を妨げない

横断歩道に接近時は減速横断歩道を通過する際、横断しようとする歩行者がいないことが明らかな場合を除いて、横断歩道の手前で停止できる速度で進行

横断歩道又は自転車横断帯があることを示す標示

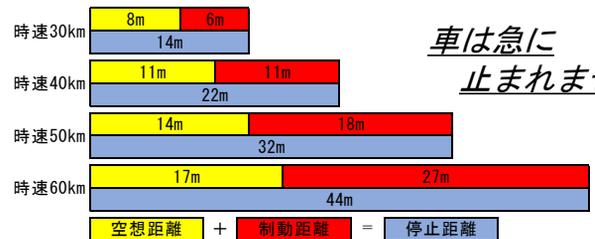
## 3 車間距離の確保

交通事故の約35%が**追突事故**

追突をしない、されないために

- ・ 安全な車間距離を確保
  - ・ 前方の車の動きに注意
  - ・ 急な右左折合図や減速はしない
- 等を心掛けましょう。

速度と停止距離(※道路の状態や運転手の体調等によって変化します。)



車は急に止まれません!

時速50kmでは、危険を感じてから停止するまで約32mも必要!  
常に「この**車間距離**で大丈夫!?’という意識を!

## 4 早めのライト点灯・ハイビームの活用

歩行者関連の交通死亡事故の約7割が**夜間時間帯**

※ 夜間時間帯とは ~ 午後6時から午前6時までの間で算出  
夕暮れ時、**早めにライトを点灯**しましょう。

対向車や先行車に配慮しながら、**ハイビームを効果的に活用**して、事故防止に努めましょう。

また、速度を控えて、昼間以上に慎重に運転しましょう。

ロービームとハイビームでは照射距離の差が約60m!

